

開会セレモニー	<p>「オープニングアトラクション」津軽海峡海鳴り太鼓保存普及会 昭和57年に新たな伝統芸能として発足した津軽海峡海鳴り太鼓 その音色は、荒々しい津軽海峡の海鳴りそのもので、迫力のある太鼓でした。</p> <p>「開会セレモニー」 主催・共催者のあいさつに続き、今回新総裁になられた石破茂氏からも 映像による祝辞が寄せられました。 JGN表彰では、当地域にあるジオパーク友の会も表彰され、 私もステージに登壇させて頂くという貴重な体験をさせていただきました。</p>
パネルディスカッション	<p>テーマ「わたしたちの海」 地球温暖化や海水の酸性化など、海に関する問題は放置することができないところまで 来ている。ジオパーク活動の一貫として、海とのかかわりなどを考えてもらいたい という趣旨のもと、4名のパネリストによるディスカッションが行われました。 パネリストの中には漁師をされている方もいて、毎年海水温が上昇していることや 魚が取れなくなってきていること、100年後の海水温と漁師の仕事について 今の現状では不安しかないということをお話ししました。 でも、人任せではなく、また不安に思っているだけではなく 漁師もいろいろ考えて、魚に合わせていかなければならないとまとめていました。</p> <p>いろんな肩書のパネリストがいる中で、私が印象に残ったのは 「Yプロジェクト(株)」の島 康子さんの活動でした。 とにかくパワフルな島さんは、「まちおこしゲリラ魂」でマグロ一筋Tシャツを 作ったりマグロののぼりを開発するなど、面白い心で地域を元気にする活動 を行っています。今回の活動内容は、下北の町歩きでしたが、 「物を売るのではなく時間を売る・下北の日常を売る・そこに住んでいる人たちの 当たり前前の生活を感じてもらう」というコンセプトで行っており、漁師の皆さんの 生活感じてもらうことから「海を守る大切さ」を感じ取ってほしいという お話でした。島さんの活動は私が今後進めていきたい活動とリンクし心に刺さりました (感想)インパクトのある活動がきっかけになって、海にかかわる人・ 海のことを考え保全する人が増えるのかもしれない。 難しい話も大切だけど、やはりキャッチーなものが心に残る、自分の庭先だけではなく 広い目で見ながら、自分事にして、自分が楽しくやっていくことが大切と感じました。</p> <p>開会式～パネルディスカッションへの参加者は、約900名。 かなり大規模なイベントになりました</p>

<p>大交流会</p>	<p>ジオパークのメインイベントの一つ、大交流会 今回は「むつまえだアリーナ」のメインアリーナで行われました。 参加人数ははっきりわかりませんが、600人は超えていたと聞きました。</p> <p>全国にあるジオパークオ関係者が集まる機会はなかなかないので、 「大同窓会」のようになる交流会。</p> <p>全国大会に何度も参加しているので、友達も増え、あちらこちらから 声をかけていただけるようになりました。</p> <p>アトラクションでは「マグロ解体ショー」がありました。 大間のマグロかと思いきや・・・なんと北海道のマグロでした。 台風の影響でマグロが取れなかったこと、産地偽装になるので正直に話します・・・と 町長が説明してくれましたが、会場が笑いに包まれました。 料理はすべておいしかったのですが、やはり解体したばかりのマグロは最高でした。</p> <p>他の地域の友達とは、近況を報告しあったり話しが尽きることはありませんでした。</p>
<p>Mmm!</p>	<p>マエダアリーナに隣接している「克雪ドーム」では「まんぷくまさかりまーけっと」が 行われており、建物の中と外合わせて110店舗近くが集まっていました。</p> <p>ブースは「Shopping」「Enjoy」「Eat」に分かれていて、ジオパーク関係者以外の お客様も多く訪れていました。開催2日目はあいにくの天気で雷もなりましたが 午後には天気も回復し、外の飲食ブースはお客様であふれかえっていました。</p> <p>ブースの中には、地元のお酒（ここだけでしか買えないというものもありました）や 食品も売っていて、さらに宅急便（佐川・黒猫）があったので、お土産をすべて ここで買い送ることができました。交通の便があまりよくない地域なので 今回のこのブースはとても便利でした。</p>

荒町美紀

<p>口頭発表</p>	<p>「まんぷくまさかりまーけっと」が行われている同じ会場内で、口頭発表が行われました。ステージ発表と、ステージ横に小さなブースがあり、同時進行で発表が行われていました。ステージ発表の一つに「大平小」の「芦崎守り隊」がありました。魅力たくさん芦崎湾・伝えようつなげようと題して芦崎湾の魅力や、そこにいる生き物たちのことを堂々と発表していました。</p> <p>小学校の口頭発表は数校ありましたが、その学校も堂々として素晴らしかったです。そして、どの発表も共通して言えることは「故郷のすばらしさの再発見・再確認」故郷の魅力・良さを知ること、どの発表も最後には「この魅力を広めていきたい」という言葉で締めくくられていました。</p> <p>大人が伝えることも大切だが、自分たちで調べて人前で発表する、このことより自分が住んでいる地域のすばらしさを知ると共に自信もつき、もっとたくさんの人に教えたいという気持ちと「ふるさと愛」が湧くのではないかと思います。</p> <p>ジオパークが抱える色んな課題などを、子供たちに考えてもらうとても柔軟な考えと視点で、大人が思いつかないような発想が生まれます。</p> <p>ひとまず、実現できるかできないかという大人の考えは置いておいて、子供たちに考えてもらうのも大切だなと感じました</p> <p>ステージ以外の口頭発表は、システムがよくわからなかったこととパーティーで仕切られただけの空間だったので、ステージの音に負けて聞き取りづらかったです。</p>
<p>まとめ</p>	<p>今年で7回目の参加となりました。</p> <p>仲間との再会の喜びと共に毎年新しい出会いもあり、全国各地のジオパークに友達が増えていきます。</p> <p>この大会は、日本全国のジオパーク仲間のエネルギーを体中で感じる事ができる大会です。いろんな取り組みや抱えている課題の共通点など、楽しいだけでなく学びの多い大会です。</p> <p>また、いつも思うのは子供たちの力です。最初は、この大会で発表するために始めたかもしれませんが、調べていくうちに故郷のすばらしさや抱えている課題に直面し、最後は、発表するだけにとどまらず、この先も守っていききたいという気持ちになる。また、行動を起こす。この大会での発表がゴールではなくスタートになる、本当に素晴らしいことだと思います。</p>

当地域からの参加者は行政関係者を除くと、残念ながら6名でした。
洞爺湖町からは私のみの参加でした。時期が8月の末ということもあり、観光関係者は参加しづらい事もありましたが、もっとたくさんの人に参加してもらい、エネルギーを感じてもらいたいといつも思っています。
今後も、体力とお金が許す限り、参加を続けていきたいと思います。

